



徳富蘆花講座

『みみずのたはこと』の面白さ

明治・大正期に千歳村粕谷（世田谷区粕谷）に住んでいた文豪「徳富蘆花」（とくとみ ろか）をご存じですか？

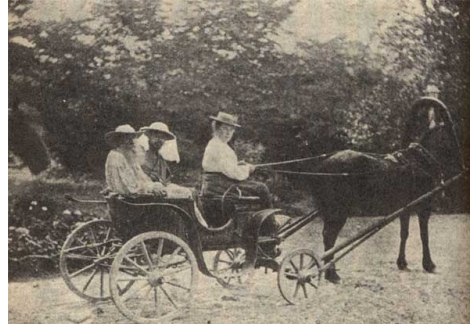
徳富蘆花は、日露戦争後、トルストイを訪ねたロシア訪問から帰り、千歳村粕谷に妻愛子と住み着き、徳富健次郎としての活動を始めます。

『みみずのたはこと』は、その日常を様々なテーマで描き続けた文集です。その面白さは、若者の「千歳村詣で」を引き起こすほど多くの読者を得ました。この作品の魅力、面白さを探ります。



世界を一周してみてもやはり日本が一番いい。そして日本の中で粕谷が一番いい。

a. 徳富蘆花



b. ヤースナヤ・ポリャーナ(トルストイ居宅)にて左トルストイ(78才)、中央蘆花(39才)、右三女アレキサンドラ(22才)



c. 恒春園南面

(写真出典) 表題肖像 国立国会図書館近代日本人の肖像。a.b.d.e 蘆花恒春園所蔵。c.f『みみずのたはこと』復活版より。



d. 自宅の地蔵前の蘆花と愛子夫人



e. 粕谷の自宅と蘆花一家



f. 鋤取り(畑を耕す蘆花)

講師 中島国彦氏(早稲田大学名誉教授、日本近代文学館前理事長)

日時	令和8年6月27日(土)	午後2時~4時
会場	粕谷区民センター1階第1・2会議室(粕谷4-13-6)	
申込	電話予約で先着30名 (申込期間5月22日(金)~当日まで)	
申込み・主催	世田谷区立 粕谷図書館	電話 03-3305-1661 FAX 03-3305-1664